

竹林院奥駈行の接待（行仙宿に一泊）

◇実施日 7月15日（土）～16日（日） 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、大江加予子・徳子、畑林清子、

瀧本昭太郎 6名（宿泊）

濱野兼吉、湯川一郎、阪口雄二、大森洋、西克、由井洋三、高橋桂太、生熊千満子、高階美根子 9名（日帰り）

竹林院

福井紀之（東京）、園田寿彦（京都市）、田畠研一（さいたま市）、大槻康夫（綾部市）、佐々木雄真（綾部市）、大槻秀和（綾部市）、中村昇俊（草津市）、松村卓司（京都市）、本村隆行（草津市） 9名

5月24日、竹林院院主福井良盟氏から電話があり「本年度の当院奥駈修行を南で行う。ついては7月15日に行仙宿で一泊したいので、その一泊と夕食、翌日の朝食と昼食弁当のお世話を頂けないか」との内容であった。参加者は10名位で、行動予定や参加者名簿は後日送付することだった。大峰山護持院の南奥駈は久しぶりの事なので、すぐに了解の返事をする。

竹林院の南奥駈は平成29年（2017）の7月9日に11名で金剛多和に出向き、途中接待をさせて頂いた記録が有るが、それ以前については不明である。

7月15、16日の本番と7月12日に事前荷揚げと決め、皆さ

んに周知、相談を行う。特に食事のお世話は女性の皆さんに対応していただく必要があり、大江さん、畑林さんをお願いした所、快く引き受けてくださった。

その後竹林院から奥駈案内文と参加者名簿が届く。参加人数は7名になっていた。

どことも高齢化や会員数の減少にコロナも重なり人集めに苦労されているようだ。参加人数が少なくなったので7月12日の事前荷揚げは中止し、7月15日にまとめて荷揚げすることにした。

事前に沖崎、大江、畑林の3名で打合せを行い、2日前から食材の調達を済ませた。また当日の宿泊者を沖崎、梶野、瀧本、大江親子、畑林の6名とし、荷揚げ日帰り組も9名の皆さんが参加してくださった。



雨の中の荷揚げ

食材と水など

行仙宿に着く

7月14日の午後9時半、竹林院から電話があり、参加者が2名増えて9名になったので、よろしくお願いします。との事だった。

すぐに大江さんに電話してこのことを伝えると「食材は余裕をもって用意しているので、なんとかなる」と返事をいただき一安心した。

7月15日午前10時少し前に15名が登山口に集合。天気予報には無かった雨が降ってきた。洗濯した毛布や弁当、食材などはビニール袋で包んでいたのが濡れることは無いが、モノレール荷台は満載になった。皆さん雨具着用や傘をさしてモノレール終点に向かう。モノレール終点がさほど広くないので大人数の場合、荷分けや背負子への取り付けで混雑する。今日は到着順に浦向道分岐辺りまで上がってもらって取り付けていただいた。

水7.5リッターを3個、夕食のパックや食材の他、洗った毛布10枚等があったが、15名の参加があったので一回で全て荷揚げできた。

皆さん、ご苦労様でした。



15日の参加者

日帰り組下山

洗濯する毛布

行仙宿に着いた頃には雨も上がり、荷物の梱包を解いてそれぞれ

を整理、小屋とお堂の清掃を行い12時前に昼食とした。

日帰りの皆さんは新たに洗濯する毛布14枚を担いで、午後1時前に下山した。

宿泊組の6名は色々な準備を続ける。竹林院の連絡で、登山口が午後5時頃、行仙宿に着くのは午後6時頃と聞いていたので、時間はたつぷりある。梶野君はチェーンソーを出してきて丸太を玉切り、瀧本さんと沖崎も加勢してマキ造りを始めた。



竹林院一行到着

お堂で勤行

薪割り

暫く続けていると法螺の音が聞こえてきた。午後3時前だ。すぐに竹林院の一行が行仙岳方向からやってきた。

話しをする間もなく皆さんお堂の前に整列されて勤行が始まった。院主ご子息の福井紀之氏(52歳)が先達、導師のようだ。勤行を終え挨拶する。今日10時30分頃に吉野を出て白谷トンネル東口より入山、明日は午前5時出発。玉置山へ向かい十津川温泉の田花館に泊り、翌朝登り返して本宮に向かう。との事だった。

9名の皆さんを小屋に案内し、夕食までの間着替えてくつろいでいただく。さいたまの田嶋さんが薪割りの手伝いをされた。



夕食



16日朝食準備



出発時の勤行

予定よりも到着が早かったので、夕食の時間も繰り上げた。午後4時半から沖崎より挨拶と本日の寝場所や消灯時間、明日の朝食、弁当などを説明し、午後5時前に心経が唱えられ、夕食を始めた。なお、夕食は新宮の「おむすび一郎」さんのパックとし、翌日の朝食と弁当は小屋での手造りとした。

竹林院一行の食事が終わり、後片付けをした後我々6名は管理棟に移って夕食と反省会、午後8時には発電機を止め消灯する。沖崎、梶野、瀧本の3名は小屋に戻って就寝、小屋内の気温は20℃位で毛布一枚で過ごすことが出来た。

なかなか寝付けず、夜中に3回もトイレに起きた。隣の瀧本さんもよく眠れなかったようだ。

午前3時になったので管理棟の様子を見に行く。女性陣3名はすで

に朝食の準備をしていた。梶野君は午前2時半に発電機を始動していた。



玉置山に向けて出発



小屋内の清掃



下山完了

午前3時半頃には行者の皆さんも起床され、午前4時に小屋の照明を点灯した。午前4時10分から朝食を始める。

食後、出発の為装束を整え、午前5時にお堂前に整列し勤行。お礼の言葉を頂き玉置山に向けて出発された。

一行を見送った後、食後の片付けを行い、泊組6名も朝食を摂る。久しぶりに小屋で摂る朝食、暖かいご飯と味噌汁がうまかった。食後は片付けと掃除。掃除機を使って隅々まできれいにした。

午前7時半、ガスボンベやゴミなどを背に下山した。

今回の接待で、宿泊代の他夕食、朝食、弁当と行動食（パン、バナナ）を含めお一人6,000円を頂戴した。加えて金一夫を寸志として頂いた。竹林院は精進料理、禁酒、禁煙に関して寛容で自由なしきたりのようだ。準備する側にとっても大変やりやすい。

毎年奥駈行を行っているようだが、殆どは吉野から山上ヶ岳まで、南奥駈は6〜7年に一度くらいの頻度のようだ。

現在我々ぐるーぷは南奥駈道の整備と小屋の維持管理が主な活動になっているが、今回のような修行される行者の接待・サポートも重要なことである。今後も登山者を含め、来山、来宿者の対応にも力を注ぎたい。

今回食事を一手に引き受けてくださった大江さん、徳子ちゃん、清ちゃん、ご苦労様でした。また日帰りで荷揚げや毛布の荷下ろしにご協力頂いた皆さんに厚く御礼申し上げます。

特に由井さんには遠路ご参加いただきありがとうございます。

コロナ過で遠のいていましたが、久々の小屋泊まりでした。たまにはいいものです。
(記：沖崎)

行動タイム

7/15 09：35 補給路登山口↓10：57 行仙宿↓12：43 日帰り組下山
↓15：00 竹林院到着↓20：00 消灯
7/16 02：15 朝食準備↓竹林院出発 05：00→07：28 下山→08：08
補給路登山口